

(様式第4号)

## 上田市環境審議会 会議概要

1 審議会名	上田市環境審議会
2 日時	令和2年6月30日 午後2時00分から午後3時30分まで
3 会場	市役所本庁舎 6階 大会議室
4 出席者	末広繁和会長、丸山登志一副会長、松田耕治委員、上原けさ恵委員、瀬上たか子委員、土川哲志委員、北嶋忠治委員、吉原泉委員、高橋大輔委員、高橋伸英委員、丸山かず子委員、保母裕美委員、下城裕子委員、池田一弘委員
5 市側出席者	山口生活環境部長、山岸生活環境課長、中村課長補佐兼環境政策担当係長、若林主任、小宮山主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年7月3日

### 協議事項等

1 開会
2 あいさつ
3 委員の変更及び副会長の選任 ・委員の変更に伴い副会長が不在となったため、新たに副会長として丸山登志一委員が選任された。
4 諮問
5 議題 (1) 地方公共団体実行計画（区域施策編）について ・資料に沿い、事務局から地方公共団体実行計画（区域施策編）について説明 ・以降、協議 (委 員) 長野県は2050年にゼロカーボンという国以上の目標を掲げているが、その方針を入れる必要があるのではないか。 (事務局) 市の施策として実効性のある計画となるよう目標値の設定も含め検討していきたい。 (委 員) 気候変動の問題はひとつの市だけで対策ができるのではなく、地域によって得意不得意の分野もあると思うが、他市等との連携は想定しているか。また、SDGsの精神では発展途上国・先進国という分けに限らず、国内という視点でも重要だと思う。 (事務局) 太陽光については具体的な連携は難しいと思うが、東御市にできるバイオマス発電に関して、上小地域の資源を使った間接的な連携は考えられる。また、県の情報も集めながら、連携できる分野を検討していきたい。 (委 員) 太陽光発電については、反対運動の起きている場所もある中で、森林の保全なのか太陽光発電の推進なのか、市としてはどのように考えているのか。 (事務局) 基本的には自然環境との調和が前提で、災害の懸念がある場所等については「上田市太陽光発電設備の適正な設置に関する条例」により、住民に対する説明会の義務付けや指導等を行っているところである。 (委 員) 風力発電については、上田市では可能性がないのか。アリオに風車と太陽光パネルのついた照明があるが、そういったものは違うのか。 (事務局) 風力については、新エネルギービジョンの策定時の調査において、ポテンシャルが少ないことから、設定を見送っている。本計画における風力発電とは、照明用に使うようなものではなく、発電事業として実施できる規模のものを想定している。 (委 員) 森林整備とあるが、地元の人達が森林整備をしてきたが、担い手が少なくなっているが、どのような人がやるものなのか。 (事務局) 森林整備については、災害の防止や温室効果ガスの吸収という有益な側面があり、継続的な実施が必要となるため、担当部署と連携していきたい。 (委 員) 温室効果ガスの吸収とはどのような対策か。

(事務局) 吸収とは、光合成などにより植物が温室効果ガスを吸収するため、森林の適正な管理などにより、その吸収量を確保する対策である。

(委員) バイオマスという言葉は市民がわからないのではないか。

(事務局) 本文の中で詳細な説明を加えるなど、わかりやすく表記する。

(委員) 学校における環境教育の推進とあるが、学校ではやらなければいけないことが多すぎて、追加することは難しいのではないか。

(事務局) 環境教育は小学4年生を対象に行っていることから、その機会に地球温暖化対策に係る内容を組み込んでいけるように検討していきたい。

(委員) 新型コロナウイルス感染症の影響で休校となったが、給食に使用する食材はどのようなになったのか。

(事務局) 担当部署に確認する。【担当部署確認：食材のキャンセルには2日前に連絡をする必要があることから、2日分キャンセルが出来ない分が発生した。キャンセルが出来なかった食材に関しては学校関係者等への販売などを行い、それでも余ってしまった分は、養豚業者に餌として引き取ってもらうなどして対応したところである。】

(委員) 目標設定について、目標というより現状の積み上げなので予測値でしかない。また、再エネで35%削減とあるが、残りの65%をどうするのか示すべき。

(事務局) 目標設定にあたっては、これまで上田市全体の温室効果ガス削減目標がなかったことから、国の目標に準じ、26%という目標を立てて、市民にこれだけ削減しなければならないということを示すため、スローガンとして設定した。目標値を検討する中で、追加できるものについては追加していきたい。

(委員) 市民・事業者の具体的な施策がない。数値を入れた目標が必要ではないか。

(事務局) 検討して、追加できるものは追加していきたい。

(委員) 環境問題は市民がなかなか興味を持ってくれない部分だと思うが、どう対応していくのか。

(事務局) わかりやすい解説をつけるなどして、普及させていきたい。

## (2) その他

- ・事務局から次回審議会の開催予定について連絡

## 6 閉会